

理容 やまがた

—発行所—
山形県理容業
環境衛生同業組合
〒990 山形市清住町3-2-65
電話 0236-45-3525
発行者 富樫富太郎
編集者 長沼由夫
購読料 1部10円毎月1回発行
組合員の購読料は賦課金の
中に含まれて居ります。



▲連続講習会風景

県教育局恒例の連続講習会が九月六日天童
米沢地区を皮切りに十一月迄の三ヶ月間に渡
り開催された。今年は県の方針である地域の
レベルアップを目標に基礎技術を中心とした
アイロン科、デザインパーマ科、デザインカ
ット科の三科目を各プロツクごとに一日間の
日程で行なわれた。今年の連続講習会には、
近年にない多くの方が参加され三百四十六名
の方が受講され、この機会に今後の連続講習
会がどうあるべきか等のアンケート調査も行
ない、教育長本間氏みづから全県下精力的
に南は米沢地区迄足を運び会場を視察、受講
生と久しく談話、又励まし要望等を聞き今後
の教育指導を把握した。……秋も深まり近く
の山々の紅葉も終る中、五十七年度の連続講
習会も無事成功裡に終了。

愛講生三百五〇名
五十七年度連続講習会
成功裡に終了!!

目標!! 全店舗加入をめざして

第3回 謝恩

理容まつり開催



全壊24戸、半壊51戸長崎被害甚大

相互扶助精神を生かそう

7月23日以降、九州地方を
襲った集中豪雨は長崎、大分
の災害地域には災害救助法が
適用され、国も積極的な救援
活動に乗り出している。とく

に長崎、熊本両県は激甚指定
を受けにいたった。
当山形県組合でも先の理事
会の席上、一店舗五〇円の寄
付を処出する事に決定した。

3. 期間
昭和57年12月1日～昭和57年12月31日（一ヶ月間）
2. 主催
山形県理容環境衛生同業組合
共催 東北理容協議会
企画 全国理容環境衛生同業組合連合会

長井市、白鷹町、飯豊町、小国町の一市三町が一つになつて結成されている。アヤメとツツジ咲く花の長井市、ツムギと鮎の白鷹、牧野、山菜の豊庫、飯豊と小国、その中心長井市が拠点である。白鷹山朝日、飯豊山と本県の代表的な山も周囲に位置する。人口約五万、組合員一三〇余名、概して三役の下に共販、事業組織、教育、広報、婦人、青年、研修の各部があり七つのブロックがあつてそこには、各区長が組合員の統制を計つて居る。

組織傘下の青年部長には華々しい活躍中の野球部が県下第一番に組織結成されて、連續県一の輝かしい成績をのこし他支部にその結成を促した。原動力となつている所以ではある。県代表として東北大会にも出場している。プロ野球でいえば

躍進!!長井支部

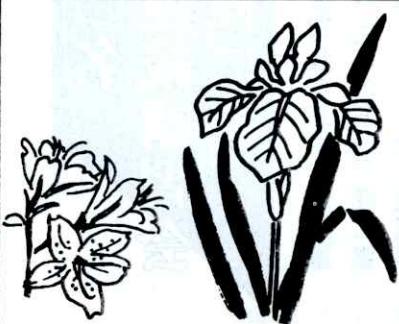
各支部だより

巨人に倣いするのか、今後ますます楽しみな存在である。同じ組織下の婦人部、この活動ぶりも見逃がせない。県でも早い方の結成であり、年五回位の事業を消化している。昨年は婦人の基礎知識を学ぶ為、料理、茶道、習字の志学向上から青年部と共にソフト、卓球と文武両道を地で行く大活躍、常に五十～六十名の部員が相集つて講師を囲んでもの大奮斗、他に類を見ない躍進ぶりは模範となりそう。

今年の改選で三役共交替、各新役員が専ら今後の事業を検討すでに七月五日、満開のアメ公園中で保健所講師による講話、アヤメ観賞会を催し大盛況に終始した。今年の事業が満載である。各部を紹介しただけで今日の掲載は満杯となりそつだが、広報も県組合傘下トップで発刊、年五回刊行を目指す。研修部は十月第三日曜、月曜に一泊二日で日本三景のうち松島、金華山に決定している。これで五回

目の組合一泊研修旅行である。事業部は支部に廉価品物を斡旋して喜ばれているし、教育部も優勝の実力を發揮した。部長の構想のままに素晴らしい講習会が今後二回程組まれて居る。どの部をみても他支部に劣らないものがあると各組合員は自覚している。夢がどんどん現実化されて行く現在組織の歯車に翻弄されることなく常に組合員の立場を頭の中におき、ひとりよがりでなく、支部の発展する工夫をするのが公に奉仕する者の最も大切なことである。……こんな事を考え乍ら支部の躍動と監視する行員を盛り上げている支部なのである。

長井支部広報部
鈴木孝知



祝賀会に望んで



残暑厳しい八月三十日十一時より、余目中央公民館三階大ホールで、庄内ブロック主催で富樫富太郎氏の全国常務理事並に組織部長就任祝賀会が、長南氏の司会で始まり、田村氏の開会の言葉に続き庄内ブロック会長、志田健二氏の挨拶並に、細谷副理事長の力強い励ましの言葉と現在迄の活躍を讃え、今後は全国の現事長を目差してと結ばれ盛大な拍手が会場にあふれ、山形県はもとより各界代表を始め八十数名の参加者を見盛りに行なわれました。今後の理

容業界に託された諸問題を一つ一つ解決し理容業界の繁栄の為全身全霊を持って、事に当るとの固い決意を述べられた全員より万来の拍手の中、花束贈呈、渡辺春雄氏の四海波と続き、坪倉氏の乾杯の音頭で「乾杯!!」の後、アトラクションへ移り、藤島支部組織部長小林氏に司会もバトンタッチ、藤島支部婦人部の花笠おどりや出羽三山音頭等色々の催しがあり、鈴木氏の万才三唱で会が終る迄、本当に有意気な一日であった。

又富樫理事長には今後共健康に充分注意され、増々の御活動を期待します。

藤島支部広報部
齊藤 金美



最上峠を彩る紅葉も、真近な瀬見温泉ほてい屋に於いて最上支部理容組合野球部のバッテ納めが去る十月四日華かな宴席を得て行なわれた。

今田監督以下今年も完投投手兼女房役のキヤッチャー大沼を始め、斎藤、小松、八鍬手塚、佐々木、松田、三浦、笛原、大沢、岸、板垣各選手の通算スコアが永沢から発表される度に爆笑の渦となる。又美人マネージャー紅二点のキミちゃん、ケイ子ちゃん、顧問早坂二戸も参加し、若き

血潮が漲る今年の大会の思いを新たにした。
各ポジションを各選手が良く守勢しベストを尽した。

はばたけなる者

村岡 博

又戦い抜いた好試合の数々、まず東北大会に出場し、他県との技の格差が余りなく、やれば出来ると言う認識を与えた利

シーザンも終った。又来春に県優勝を賭け頑張る意志の満ち足りし笑顔をグラスに誓う最上の勇者に歓喜の拍手を贈りたい。

山形県理容野球連盟よりお礼

秋冷の候 組合員の皆様にはますますご健勝の事とお喜び申し上げます。

平素は当野球連盟の育成につきましては格段のご指導と、ご援助を賜り厚くお礼申し上げます。さて去9月19・20日の2日間にわたって行なわれました、第二回東北理容親善野球大会も心配されました天候にも恵まれ、東北6県参加12チームの若人が、山形県野球場を主会場にし、熱戦を展

す。

最後に山形市長金沢忠雄氏中山町長石川金男氏、衆議院議員鹿野道彦氏、県議吉村守谷、飯野各先生方、東北各

県理事長のご協力と、友好協賛商社関係各位の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

第二回東北理容親善

野球大会実行委員長 山形県理容野球連盟会長 松田 貞雄



試合は声高くして語り安い。時を傭べば数限りない追憶が旋律となつて名選手の胸に確にあつた。最上野球部員の和の結晶がスクランムを組んで白球を追いマウンドにちらばる最上男児の闘志を燃した今シーザンも終つた。又来春に県優勝を賭け頑張る意志の満ち足りし笑顔をグラスに誓う最上の勇者に歓喜の拍手を贈りたい。

試合は声高くして語り安い。時を傭べば数限りない追憶が旋律となつて名選手の胸に確にあつた。最上野球部員の和の結晶がスクランムを組んで白球を追いマウンドにちらばる最上男児の闘志を燃した今シーザンも終つた。又来春に県優勝を賭け頑張る意志の満ち足りし笑顔をグラスに誓う最上の勇者に歓喜の拍手を贈りたい。

